

正確な情報を集めよう

災害時には、時間の経過に伴い状況が変化していきます。そのため、適切に行動するためには、正確な情報を得ることが重要です。

雨量、河川水位や河川のリアルタイム映像、土砂災害の危険度などの情報はインターネットで提供されています。積極的な情報収集に努めましょう。

五泉市緊急情報 Twitter


市内の災害・防災情報を発信
https://twitter.com/Gosen_EMG
 五泉市 ツイッター 検索
(スマホサイト)

新潟県防災ポータルサイト


新潟県内の防災に関する幅広い情報を提供
<http://bousai.pref.niigata.jp/>
 新潟 防災 検索
(スマホサイト)

新潟地方気象台


天気や注意報・警報など気象に関する情報を提供
<https://www.jma-net.go.jp/niigata/>
 新潟 気象 検索
(スマホサイト)

にいがた LIVE カメラ


県内に設置された定点カメラ(道路・河川・地域)の画像を提供
<http://www.live-cam.pref.niigata.jp/>
 新潟ライブカメラ 検索
(スマホ・携帯サイト)

防災行政無線自動音声サービス TEL.43-5745
 防災行政無線で放送した内容を電話で確認できます

洪水・土砂災害に関する情報と解説

水位観測所の基準水位

避難情報の発令の判断目安として、五泉市に関わる河川に基準水位が定められています。
 (基準水位を定めている水位観測所は下図のとおり) また、水位に応じて市より避難情報が発令されます。

水位危険度レベル	基準水位(観測所名)	解説	発令内容
レベル 5 氾濫の発生	阿賀野川(馬下) 24.15m 早出川(善願) 17.60m 早出川(不動堂) 40.51m 能代川(千原) 14.80m	堤防高	緊急安全確保
レベル 4 氾濫危険水位	22.80m 15.10m 36.35m 12.50m	河川が氾濫するおそれのある水位	避難指示
レベル 3 避難判断水位	22.00m 14.50m 35.66m 11.64m	避難情報発表の目安となる水位	高齢者等避難
レベル 2 氾濫注意水位	20.15m 14.00m 35.35m 11.23m	河川の氾濫の発生を注意する水位	
レベル 1 水防団待機水位	19.65m 12.80m 33.97m 10.51m	水防団が待機する目安となる水位	

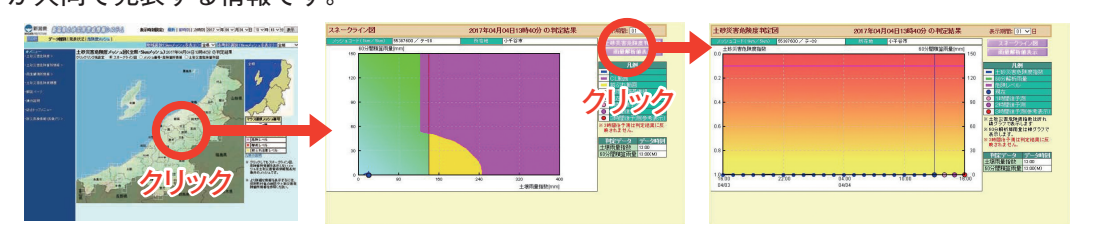
堤防の漏水・浸食・亀裂等の状況によっても「避難情報」が発令されます

国土交通省 川の防災情報
 国交省管理の河川水位・河川カメラ画像を確認
<https://www.river.go.jp/>
 国交省 河川 検索
(スマホサイト)

新潟県河川防災情報システム
 河川水位・河川カメラ画像・雨量・ダム等の情報を提供
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/>
 新潟 河川 検索
(スマホサイト) (携帯サイト)

土砂災害に関する情報提供

自分の住んでいる地域の土砂災害の危険度を確認・予測できます。
 土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険性が高まったときに、市町村長が住民へ避難指示等を適切に行えるように支援するとともに、住民自らの避難判断にも参考となるよう新潟県と気象庁が共同で発表する情報です。



【土砂災害危険度メッシュ図】
【スネークライン図】
【土砂災害危険度判定図】

新潟県土砂災害警戒情報システム
 土砂災害危険度等の情報を提供
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>
 新潟 土砂災害 検索
(スマホサイト) (携帯サイト)

共通編

災害時の避難の最も重要なことは、安全な場所に「早めに避難」することです。

日ごろから「自らの身は自分で守る(自助)」、「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る(共助)」という心構えをもち、常に落ち着いて行動できるよう考えておきましょう。

避難するときは隣近所への声かけや、災害時要配慮者(高齢者や身体の不自由な方、乳幼児など)の避難に協力しましょう。(49 ページ参照)

自主的な避難

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどからの最新の気象情報や「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。また、危険を感じたら、自主的に避難を始めましょう。



避難する前に火元確認

避難時はガス栓を閉め、電気のブレーカーを落とすことを忘れずに！



避難の呼びかけに注意を

地区のみなさんに避難が必要と判断したときは、防災行政無線や、あんしんメール等で避難の呼びかけを行います。



靴は運動靴、動きやすい格好で

夜間や浸水した道路は、足元が見えないため非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。



洪水編

危険な場所は避けて避難しましょう

がけ地や堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることはなるべく避けて避難しましょう。



車での避難は注意

車での避難は道路が浸水する前に早めを開始しましょう。道路が浸水すると車のエンジンがとまりますので、できる限り歩いて避難しましょう。



万が一、逃げ遅れたら

避難できないと感じたら無理をせず、自宅の2階や近所の高台へ避難して救助を待ちましょう。建物の場合は、階段を使って上の階へ行きましょう。



土砂災害編

安全な避難経路で

避難する際は、がけの近くや、他の土砂災害警戒区域・危険箇所をできるだけ避けて避難しましょう。



土石流は直角に逃げる

土石流は流れるスピードが非常に速いため、土砂の流れてくる向きに対して直角方向に逃げるようにしましょう。



万が一、逃げ遅れたら

もし逃げ遅れたり、急激な変化等で避難が困難な場合は、無理に外に出ず、できるだけ斜面から離れた部屋や2階へ移動するなどをし、命を守る行動をとってください。

